

## 平成19年産黒大豆の裂皮発生要因について生産者大会で講演

19年産黒大豆において問題となった不定形裂皮の発生要因について、農総研では、作物部・環境部が関係普及センター等と連携して調査と解析を進めています。現時点で明らかになったことを、4月16日に和知ふれあいセンターで開催された「京丹波町黒大豆生産者大会」において報告しました。

大会には、農家60人、関係者20人の参加があり、講演に続いて実施されたパネルディスカッションにも、兵庫県篠山市の「黒大豆の匠」、京丹波町内の生産農家代表とともにパネラーとして参加しました。



生産者大会で報告する研究員